

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立瀬尻小学校		
実 施 期 間	平成25年11月6日(水)～11月29日(金)		
実 施 概 要	①「松尾山」の登山 ②地域の特産物「円空いも」についての講話と収穫、親子で「円空いも」調理 ③あかつき障がい福祉サービス事業所「つくし」との交流 ④わくわくフェスタ		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	153人	計 213人
	地域関係者	60人	
実 施 状 況	①「松尾山」の登山(11月6日・11日・29日) ・「ふるさとに学び、ふるさとを愛する子を育てる」ことが、本校の特色ある教育活動であり、松尾山は総合的な学習の場となっている。 ②地域の特産物「円空いも」についての講話と収穫(11月2日・13日) ・3年生の総合的な学習の時間の取組となっている。栽培の指導者杉山守冉さんに栽培の歩みについての講話を聞き、その後収穫した芋で調理を行い、感謝の会を行った。 ③あかつき障がい福祉サービス事業所「つくし」との交流(11月19日) ・5年生の総合的な学習の時間のテーマである「福祉」について、障がい者の方への理解を深める交流を工夫し、実施した。 ④わくわくフェスタ(11月27日) ・児童会主催の児童の手による知恵と遊びの文化を、保護者や地域住民に公開した。人権教育への取組である「ふわふわ言葉」を実践した。		
成 果 及 び 課 題	<成果> ○「松尾山」登山は、生活科では自然観察の場として、中学年は川と山との関わりを学び、高学年では、地域の地形と史跡の位置を確かめることができ、故郷学習の最良の場である。今年度は、安全確保のため支援団体のサポートを得ることができた。 ○特産物を守り続けてきた杉山さんの苦労や工夫についてより理解を深め、特産物を作り続けることの意味について考え合うことができた。 ○所員の方や社会福祉協議会の皆さんとの連携により交流会を実施することができ、共に楽しみ喜び合うことで、理解を深めることができた。 ○児童の創造性や主体性、相手への思いやりの気持ちを価値づけ評価できた。 <課題>・体験活動が多岐にわたり、内容の充実を図るために、更に取組内容の精選を行い、見通しを持った活動にしていくこと。		